

## 平成22年度キトラ古墳壁画等の特別公開について

## 1. 出陳品

キトラ古墳壁画四神「青龍」・「朱雀」・「白虎」・「玄武」  
高松塚古墳壁画模写「青龍」・「白虎」・「玄武」

## 2. 場 所

(独)国立文化財機構奈良文化財研究所飛鳥資料館

## 3. 期 間

30日間

平成22年5月15日(土)～6月13日(日)

(平成22年5月14日(金))

児童生徒向け・地元向け・関係者内覧会)

(平成22年5月31日(月))

壁画点検のための休館日)

## 【参考】平成21年度の公開

## ・ 出陳品

キトラ古墳壁画四神「青龍」・「白虎」  
高松塚古墳壁画模写「青龍」・「白虎」

## ・ 場 所

(独)国立文化財機構奈良文化財研究所飛鳥資料館

## ・ 期 間

19日間

平成21年5月 8日(金)～24日(日)

(平成21年4月28日(火) 地元向け内覧会)

(平成21年5月 7日(木) 児童生徒向け・関係者内覧会)

## 平成22年度キトラ古墳壁画等特別公開についての要望書

貴庁の日頃からの文化財保存行政へのご尽力に心から敬意を表します。  
高松塚古墳の石室解体及びキトラ古墳の壁画はぎ取りと、これまでに例を見ない保存処理のあり方にご苦勞頂いておりますことに感謝いたしております。

両古墳とも今後一層の保存対策と国民の付託に応えられる活用のあり方に献身されますよう祈念いたしております。

特に、キトラ古墳壁画につきましては、東アジア最古ともいわれる星宿図或いは日本では初めての朱雀が確認され石室内の壁画の四神が揃い踏みを果たした貴重な国民的財産といえるものです。

三年前から白虎、玄武、十二支獣頭人身像と公開され、本年は青龍・白虎となりますが、残る朱雀と四神の展示は全村民共通の願いであります。

また、平成22年度にあつては、平城遷都1300年事業祭が開催されることから、国民のキトラ古墳壁画特別公開に対する要望は極めて高く、古代の歴史文化学習の場として、学び、体験し、実感できる機会の提供を下記の通り要望致します。

### 記

1. 朱雀をはじめ四神の特別公開を願いたい。
2. 併せて、キトラ古墳壁画四神の重要な比較資料となる高松塚古墳壁画模写（飛鳥資料館蔵）の公開を願いたい。
3. 特別公開の期間は、出来る限り延長願いたい。
4. 特別公開の具体的な内容の発表を早期に願いたい。

以上

平成21年4月21日

文化庁長官 青木 保 様

奈良県明日香村長 関 義 清

